

R7 差別のない共生条例の制定に関連して実施した事業

当日資料

NO	時期	取組	内容	成果	該当条文
1	2月	保健福祉センター周辺のバリアフリー修繕工事	手すり設置、正面玄関段差オーバーレイ		3条
2	4月	市ホームページにて周知	条例及び逐条解説を掲載中		15条
3	4月	新採用研修にて差別のない共生条例を基にした研修実施	職員対応要領及び条例に基づいた研修を実施。窓口での合理的配慮などを研修	H29年度以降毎年実施	15条
4	4月	日常生活用具にバッテリーを追加	在宅で常時呼吸器等を使用している人が対象。上限10万円。	R8.1月時点実績1件	3条
5	4月	日常生活用具に療育用具を追加	イラストカード等で日常の訓練をするための用具	R8.1月時点実績1件	3条
6	4月	障がい者団体等育成支援補助金の創設	障がい者の自発的な活動を支援する。上限5万円	R8.1月時点実績1件	3条
7	5月	条例紹介チラシを食協総会で配布	食品衛生協会総会で、飲食店等事業者向けの啓発チラシを配布		15条
8	5月	保健福祉センター周辺のバリアフリー修繕工事	障害者用駐車場を6台に整備		3条
◆9	6月	広報みつけ特集記事での特集	R7年度6月号、9ページの特集	アンケートにて差別について考えるきっかけをもらった、無意識の差別や偏見に気付いた、など狙い通りの成果があった	15条
◆10	6月	健幸フェスタでの展示	条例の特色や合理的配慮について、展示ブースを出展して紹介	ブースの来訪者は不明。ただし、一緒に無料配布したあじさい利用者が作った小物(キーホルダーやチラシなど)約200個は全て配付	15条
11	6月	卓球バレー大会	当事者団体(あざーる)が実施する市民との交流活動の支援。	120人が参加	17条
◆12	9月	民生委員児童委員連絡協議会での周知	条例の特色や合理的配慮について、逐条解説書を配布して紹介		15条
13	9月	住民健診にリフト付きレントゲン車を導入	車椅子の人も検診を受けられるよう配慮	3人の申込があった	3条
14	11月	まちづくり百科へ出前講座登録	まちづくり課の出前講座事業に登録。	R8年度1月現在は実績なし。今後、まち課の百科の更新に合わせ、「新講座」として周知を強化してもらう。	15条
15	11月	発達障害講演会補助	当事者団体(発達支援メロディー)が実施する活動の支援	約30名が参加	3条
◆16	R8.1月	地域共生社会のための啓発講演会			15条
◆17	R8.1月	障がい者事業所への合理的配慮講座	条例の紹介及び合理的配慮に関する職員用講座(工房みつけ)		15条
◆18	R8.1月	障がい者事業所への合理的配慮講座	条例の紹介及び合理的配慮に関する職員用講座(みつけ中央)		15条
19	R8.2月	障がい者雇用推進セミナー			15条
20	R8.3月	障がい者事業所への合理的配慮講座(予定)	条例の紹介及び合理的配慮に関する職員用講座(みつけワークス)		15条

◆…見附市障害者自立支援協議会事業(障害の理解促進・啓発事業)として資料2-1に掲載

15条 周知啓発の実施	市は、事業者及び市民が、障がい、障がいのある人及び障がいの社会モデルに対する理解を深め、障がいを理由とする差別を解消し、共生社会の実現が図られるよう、広報活動、啓発活動その他必要な取組を推進するものとします。
17条 交流機会の創出	市は、障がいのある人と障がいのない人の相互理解を促進するため、一緒に活動し、交流する機会の創出又は拡大が図られるよう、必要な取組を推進するものとします。
3条 基本理念(2) 関連 障害者の社会参加や自立支援に向けた取り組み	障がいのある人が、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること。